

7月

月間指導計画

1歳児



保育目標		夏の暑さに負けず健康に過ごす。 水遊びなど、夏ならではの遊びを楽しむ。			
子どもの姿		あせもなどの肌トラブルが見られるようになる。 積極的に戸外遊びを楽しむ。 少しずつ友達を意識する様子が見られるようになってきた。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	こまめな水分補給と適切な休息をとりながら快適に過ごせるようにする。	やかんにお茶を用意し、いつでもの水分補給ができるようにしておく。	積極的に戸外遊びを楽しむ。 顔や体が火照って赤くなる子どももいる。	集団の生活リズムにこだわらず、個々のリズムに合わせて適切な対応をする。
	情緒	自分でやろうという気持ちを受け止めてもらい、達成感を味わえるようにする。	子どもが喜んで取り組めるよう、イラストを付けたりリズムに合わせて行えるようにしたりと工夫する。	簡単な身の回りのことを自分でやろうとする。うまくできなくてイライラしたり、あきらめて遊び始めたりすることもある。	自分でやろうとしているときには見守り、出来た時には大げさに褒めて認めてもらう喜びを味わえるようにする。
教育	健康	水遊びをしながら涼しく過ごす。	日よけなどを用意して、直射日光が当たらないようにする。 適宜、水分補給ができるように準備する。	水の感触を楽しむ。 怖がって水に触れようとしない子どももいる。	無理強いをせず、それぞれの子どもに合わせてゆったりと遊べるようにする。
	人間関係	遊びの中で、友達や保育士と簡単なやり取りをする。	「かして」「どうぞ」など玩具を通したやり取りができるようにする。	使いたい玩具があると、友達から奪ってしまうことがある。 保育者と一緒に「かして」と言ってみる。	保育者が仲立ちをしながら、その都度適切なかわり方を伝えていく。
	環境	水遊びを通して水の動きや感触を楽しむ。	じょうろやお玉、水鉄砲など、水の動きを楽しめる玩具を用意する。	保育者と一緒に水面をたたいて水の動きを楽しんだり、喜んで玩具を使って遊んだりする。	水の動きを言葉にして伝え、その面白さを感じられるようにする。
	言語	遊びの中で、保育者や友達に簡単な気持ちを伝えようとする。	絵本などを用いて、言葉のやり取りを知らせていく。	保育者に伝えたいことを身振りや簡単な単語で一生懸命伝えようとする。	まだ言葉よりも行動の方が先に出る時期なので、子どもの行動をその都度代弁することで言葉の獲得につなげる。
	表現	水遊びで感じた冷たさや面白さを自分なりに表現する。	保育者と一緒に遊びながら、水の動きを付けたり感触を伝えたりすることで、子ども達が興味を持てるようにする。	「つめたい」「ゆらゆらする」など水遊びの中で感じたことを自分なりに表現する。	ひとりひとりの表現を認め、発見したことを一緒に喜ぶ。
食育		食具を使って自分で食べようとする。	子どものサイズに合った食具を用意する。	食具を使いながらも手づかみで食べる。 援助をされることを嫌がる子どももいる。	自分で食べたいという気持ちを尊重し、楽しく食べられるような言葉がけをする。
健康・安全		室内の温度や湿度を適切に保つ。 熱中症にならないよう、子どもの様子を注意深く観察する。 水遊びの時には日差しが当たりすぎないように、日よけを使用する。			
保護者支援		水遊びが始まることを知らせ、準備をしていただく。 水遊びの疲れが出るのが予想されるので、家庭で十分な休息をとれるように伝えていく。			